
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 3月14日～3月20日

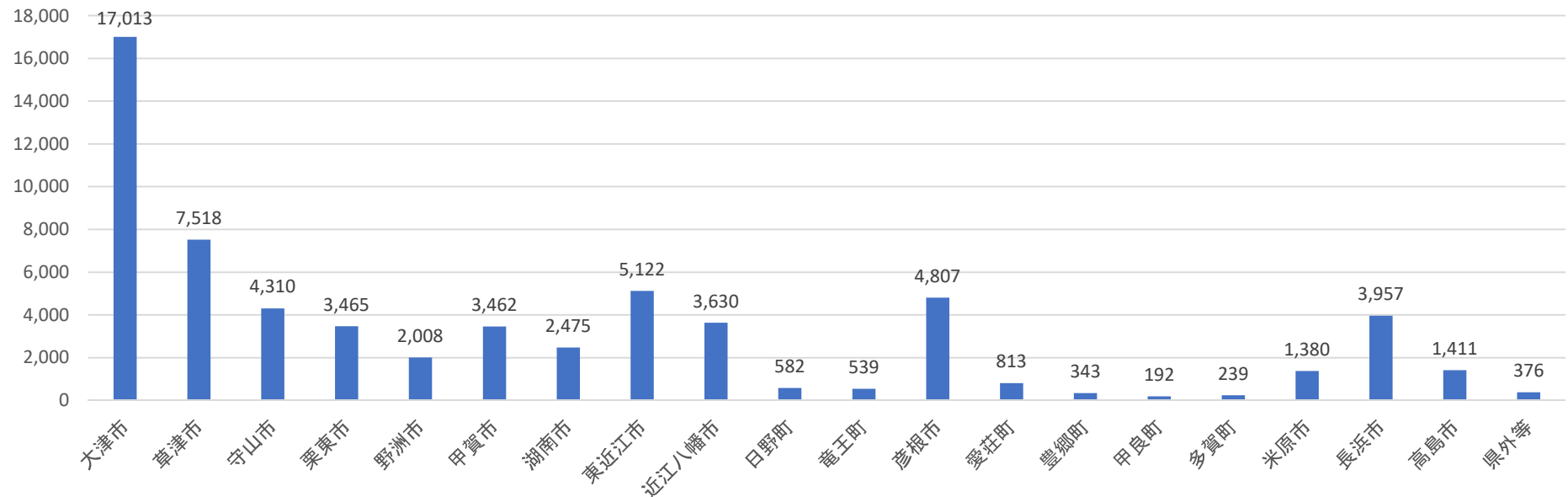
3月22日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

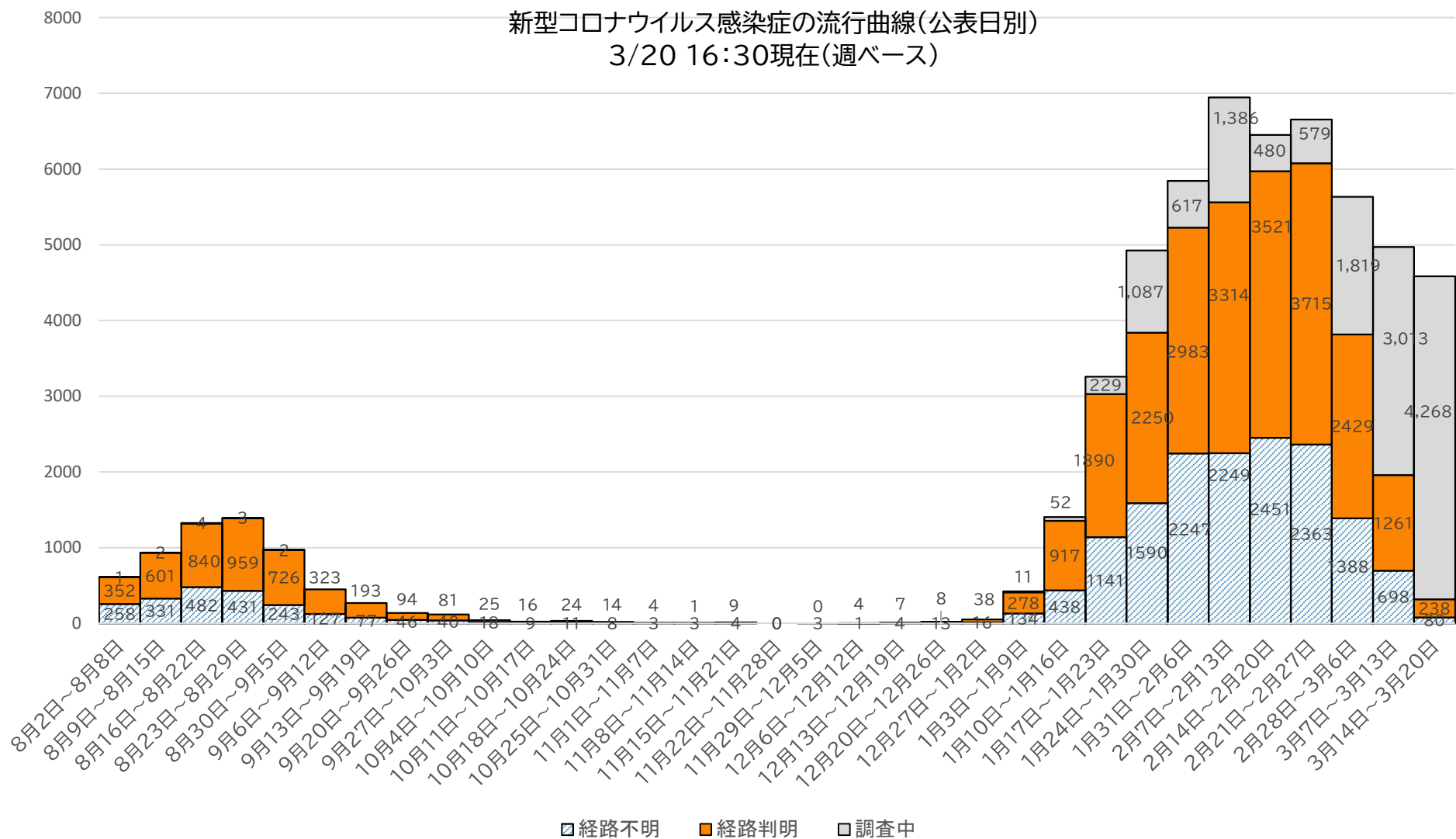
	新規感染者数
今週の報告数(3/14~3/20)	4,586人
累計(3/20時点)	63,642人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

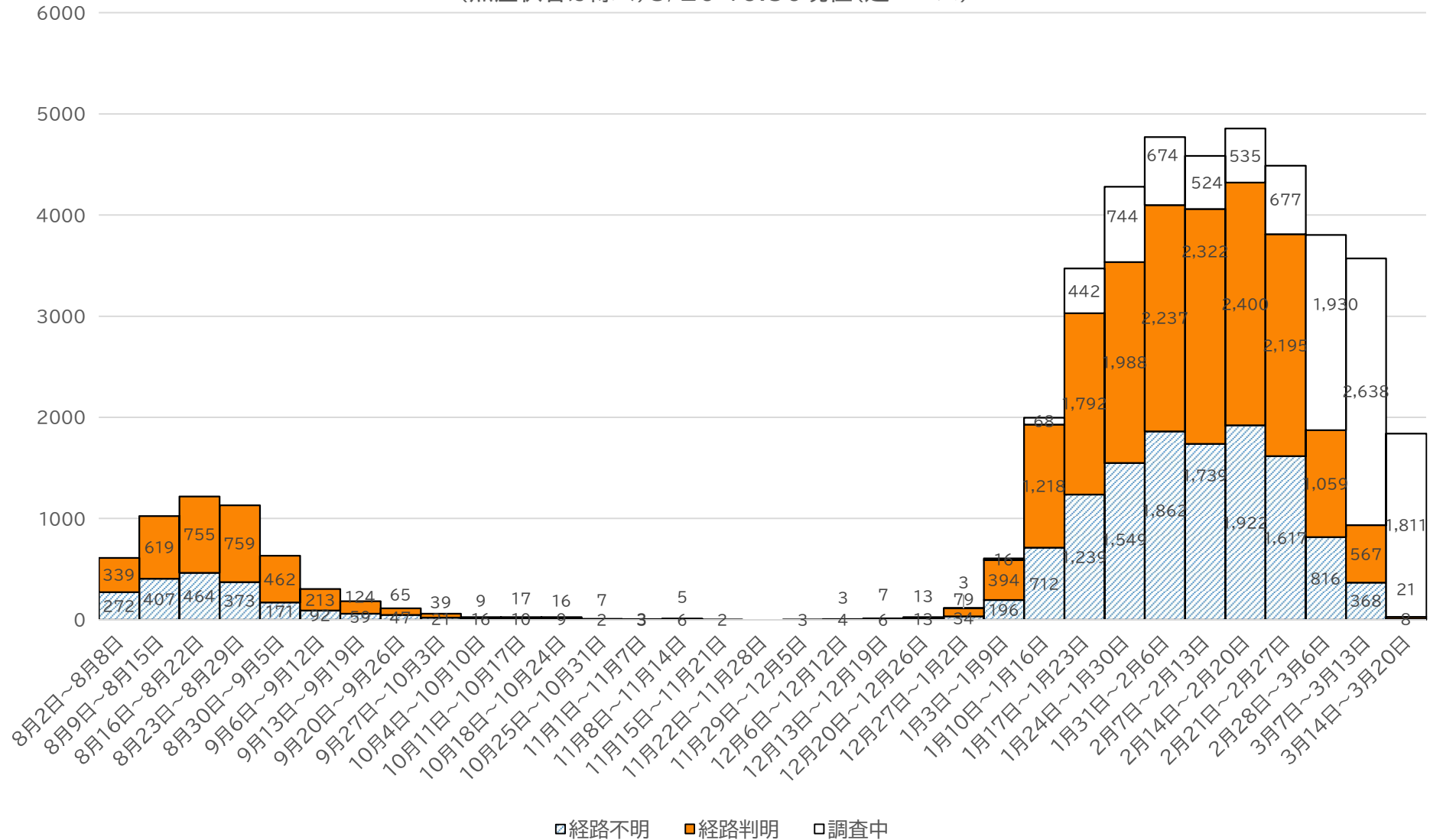
① 流行曲線(公表日別)(3月20日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(3月20日現在)

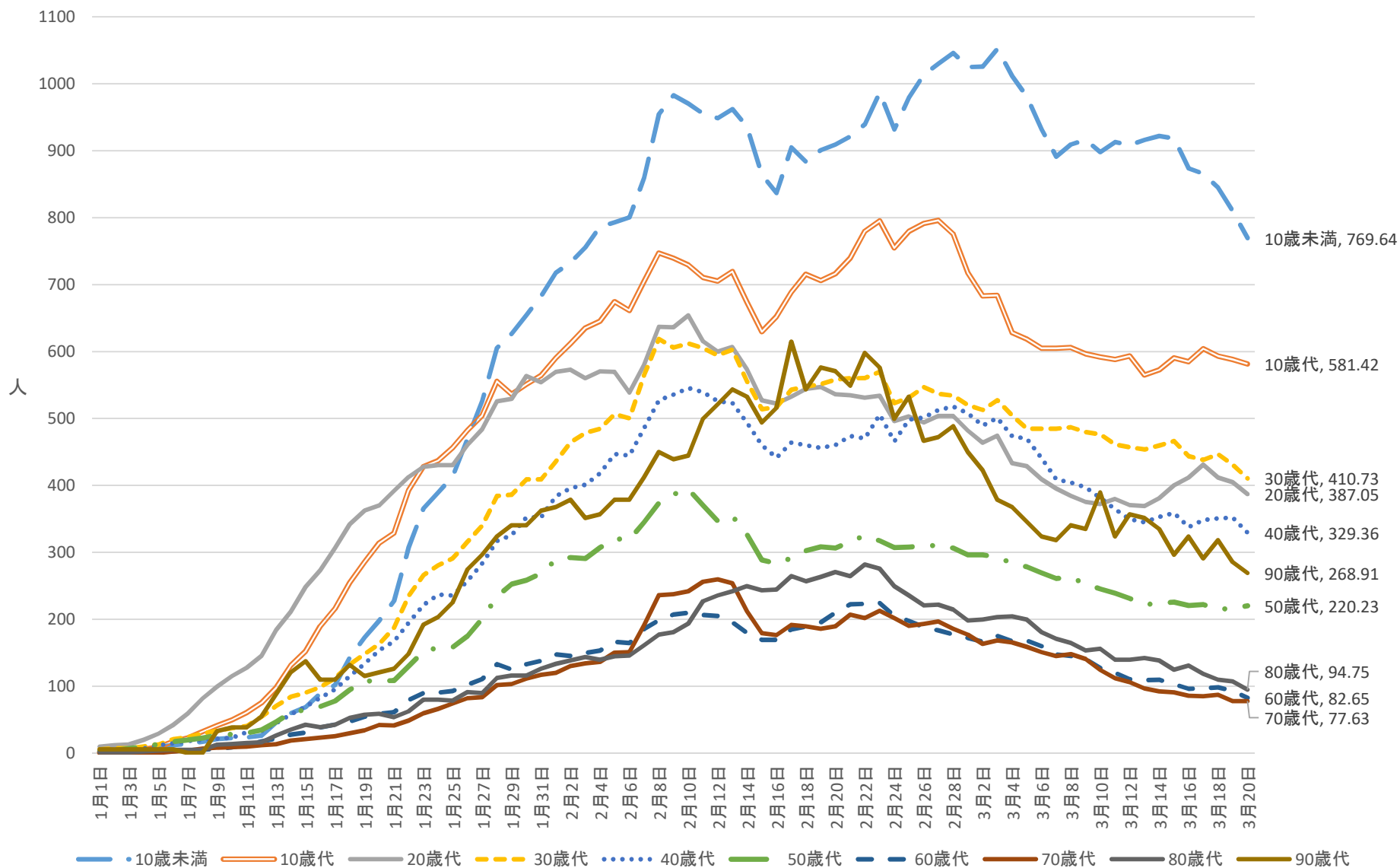
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)3/20 16:30現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後3/20以前に発症した患者が届出されることがあります。

4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

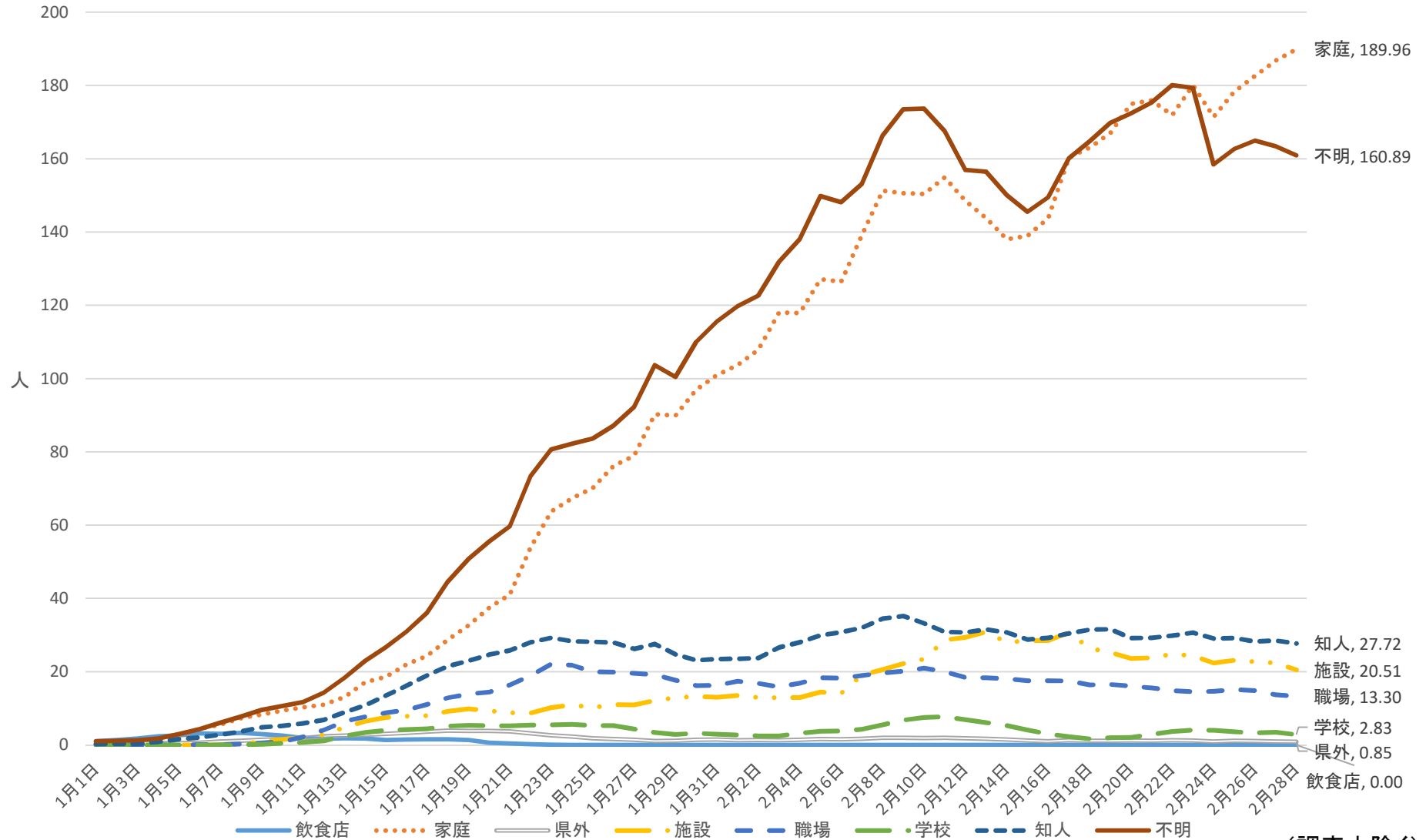
(公表日 直近7日間の累計患者数)(R4.1/1-3/20)



5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

(公表日 直近7日間の累計患者数)(R4.1/1-2/28)

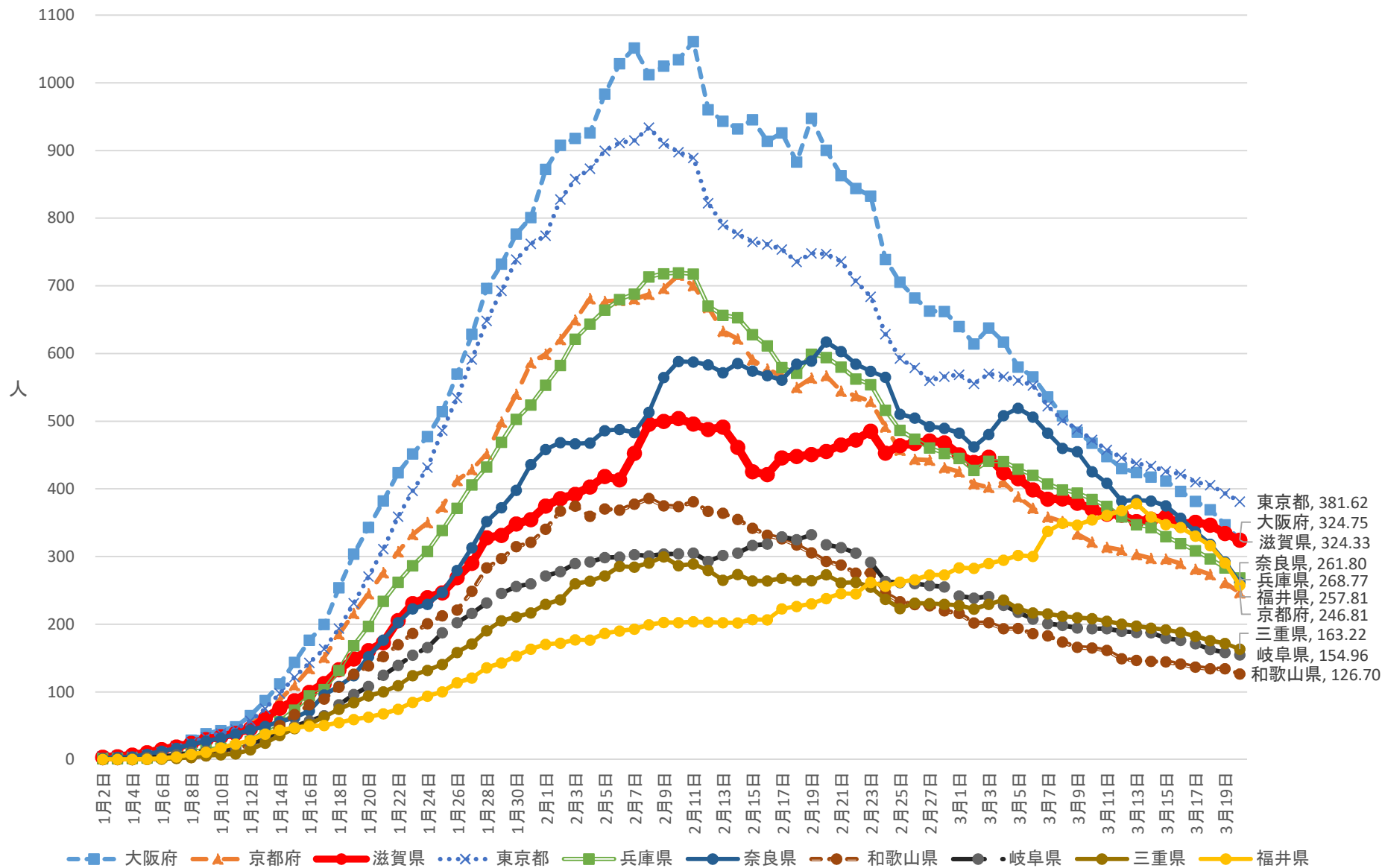
(調査中の件数が多く2月28日までの集計となり、現状を反映できていない可能性があります。)



(調査中除く)

6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

(直近7日間の累計患者数)(R4.1/1-3/20)



2、県内の感染状況と体制について(3/20現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修 理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	500	256	239	17	244	677	136	135	1	64	477

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数					入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡	
			入院中			入院予定等					
			重症	中等症	軽症						
PCR検査数	330,272										
(うち行政検査分	142,662)	63,642	6,961	239	4	54	181	6,587	135	56,498	183
(うちその他検査分	187,610)										
		(うちPCR検査判明分	40,036)					(うち自宅待機	242)		
抗原検査数	169,645	(うち抗原検査判明分	23,606)					(うち自宅療養	6345)		

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

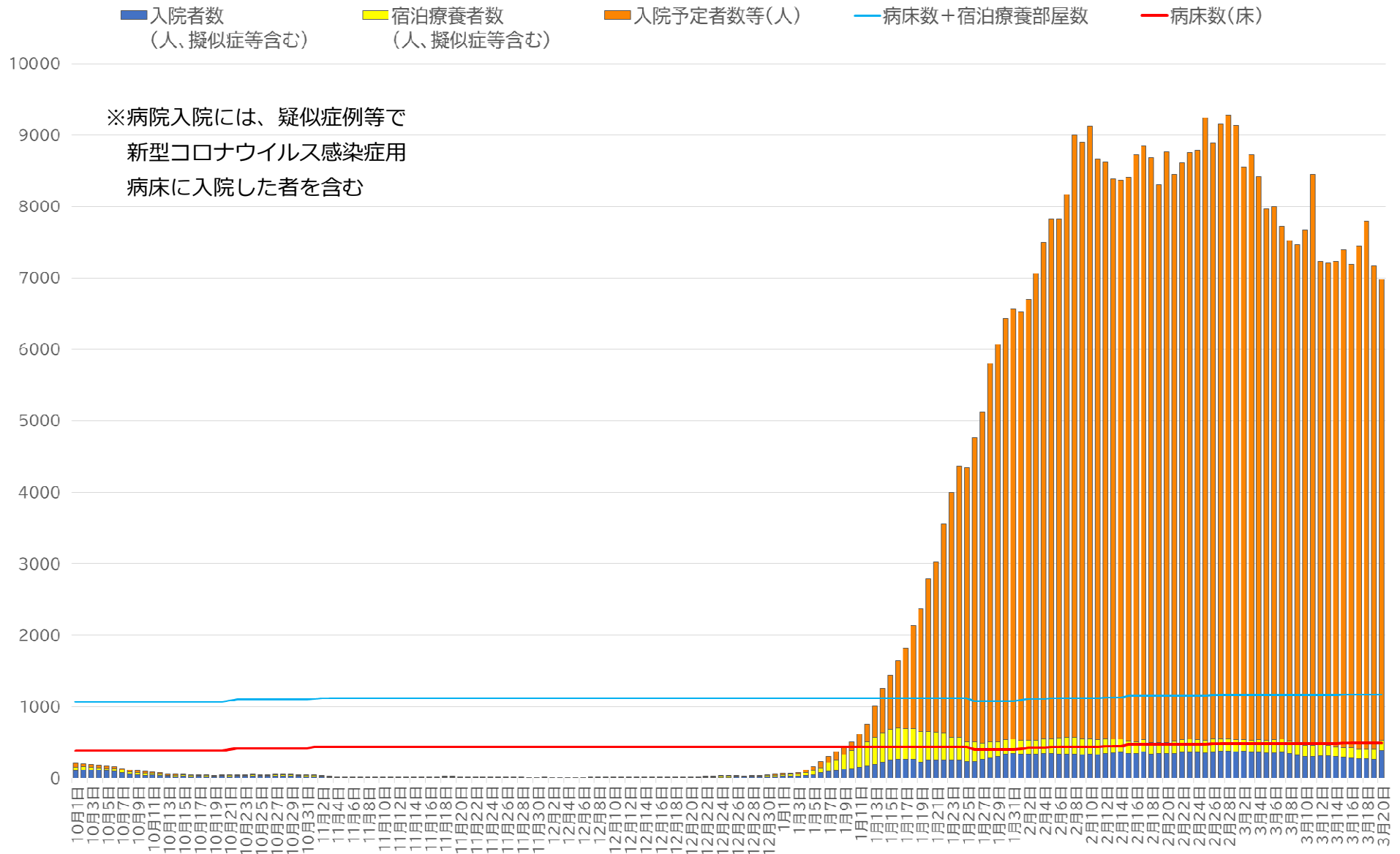
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

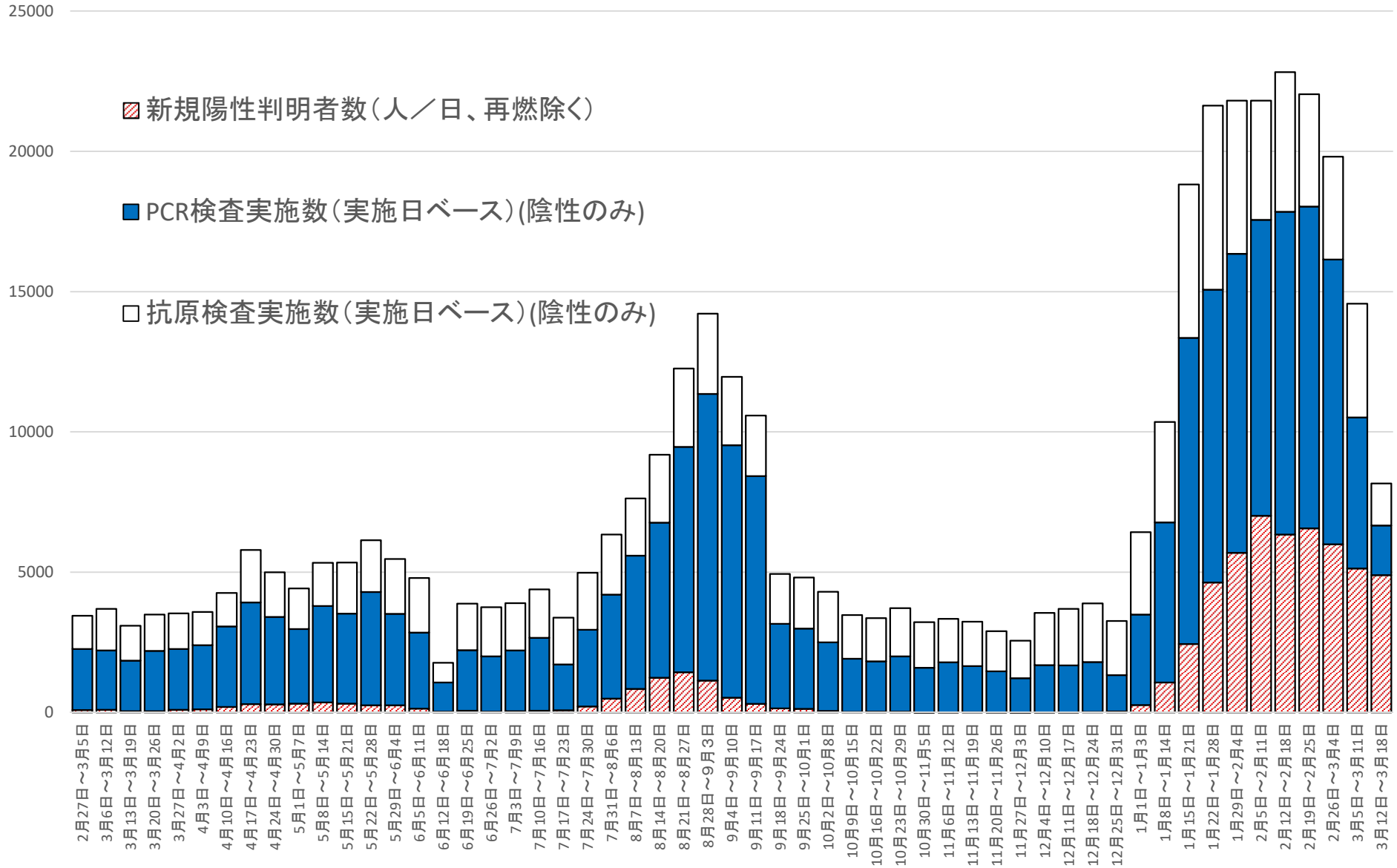
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

2人

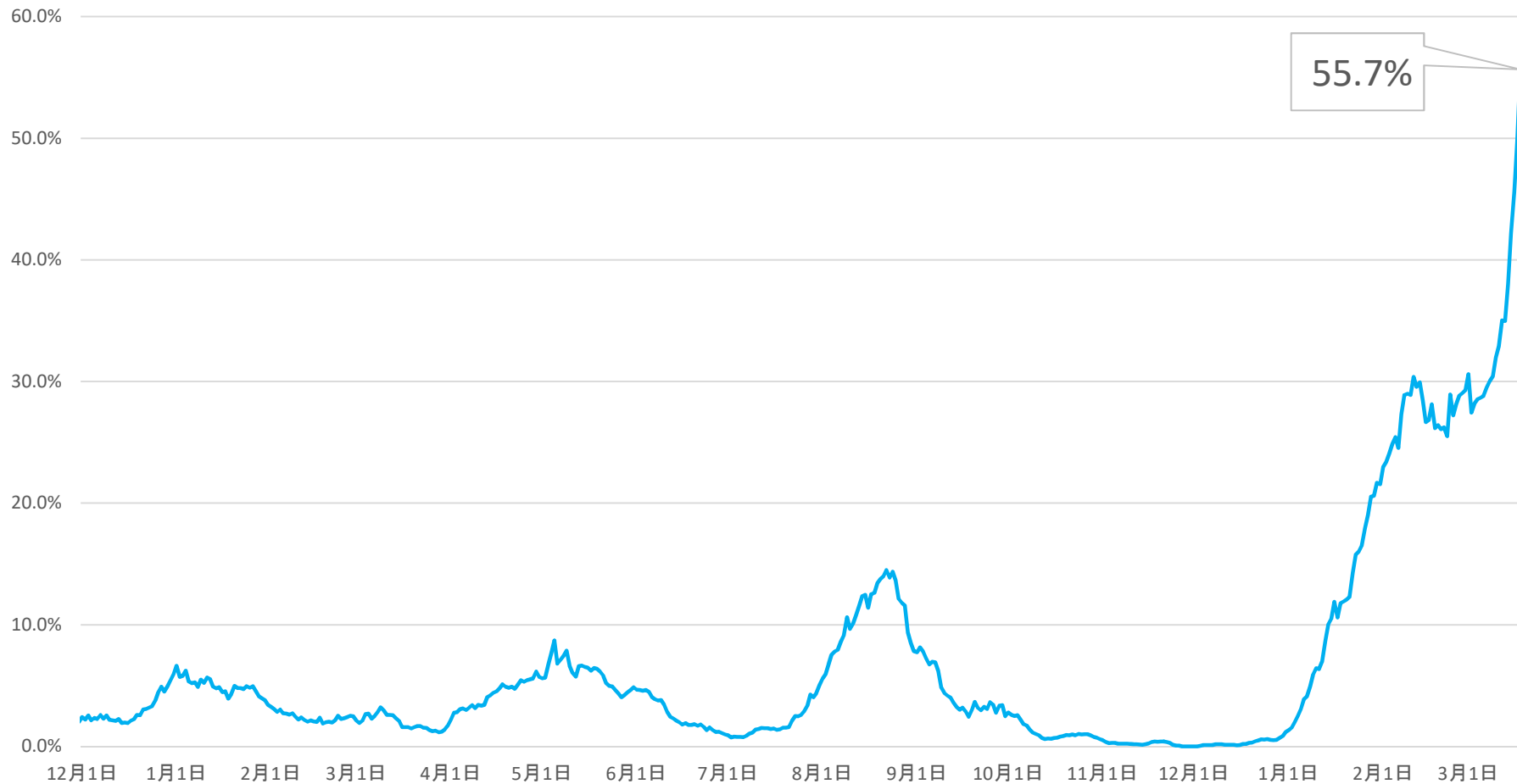
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

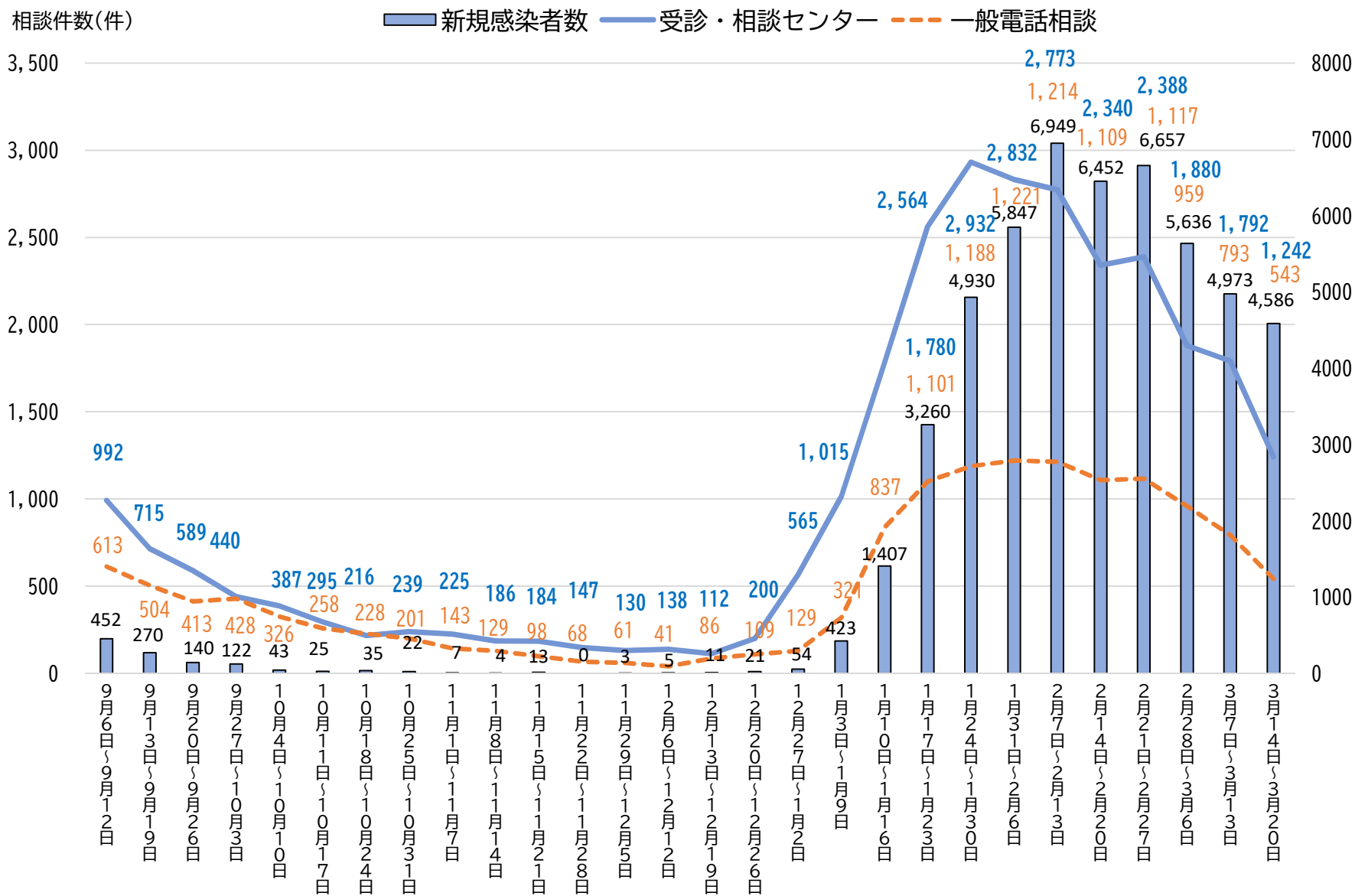


- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、3月18日現在の陽性率は55.7%でした。

6)相談体制について

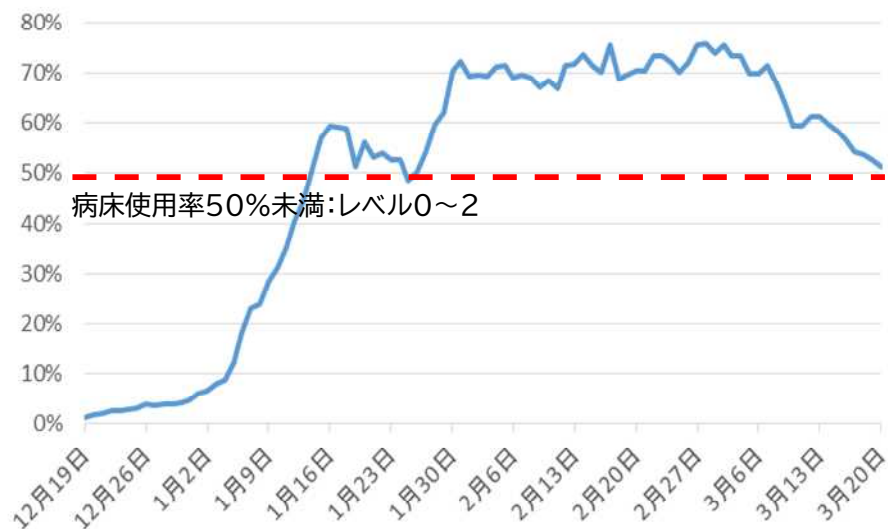
相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

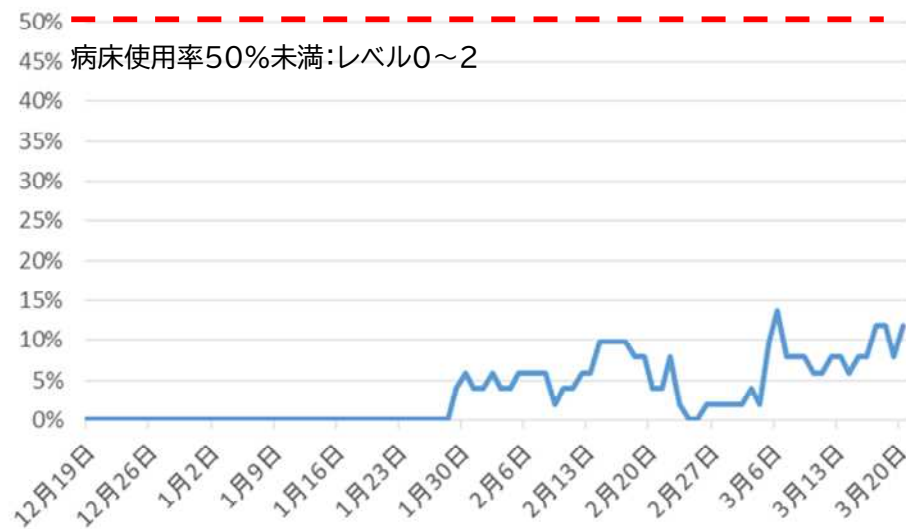


7)その他の県内の感染動向

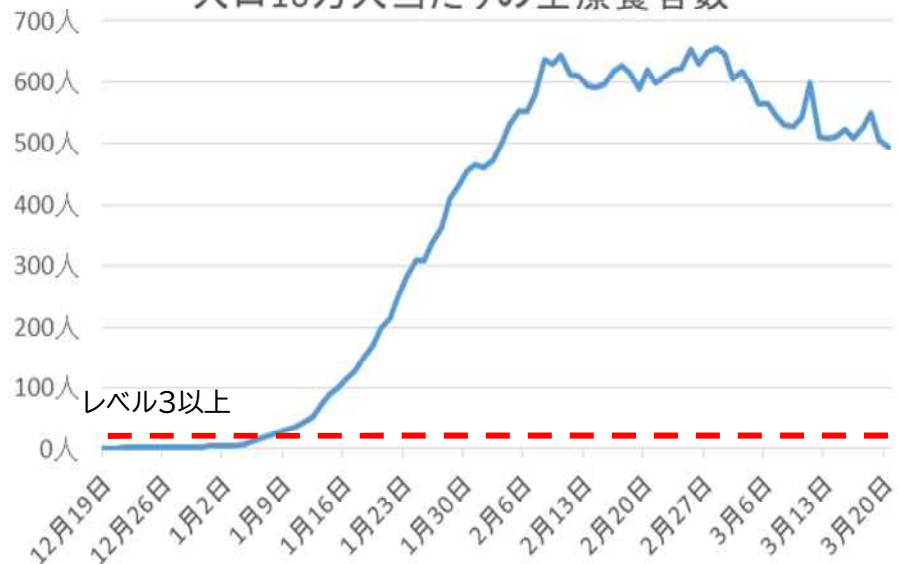
最大確保病床の占有率

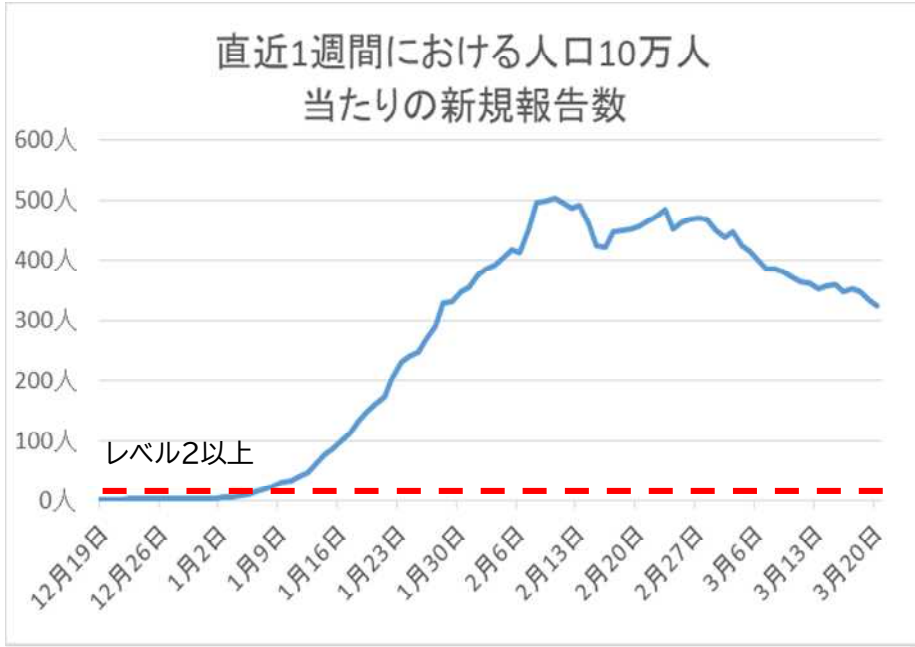


重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数





評価(3/14~3/20の感染状況)

- 本県における今週の新規陽性者数は先週と比べて0.92倍と3週連続で減少し、緩やかな減少傾向が見られます。病床使用率は50%前後にまで減少し、重症者用病床は低い値で推移していますが、新規陽性者数はピーク時の2月10日から1か月以上が経過しましたが約36%しか減少しておらず未だ多い状況が続いています。この減少傾向を確かなものにするため、対策の継続をお願いします。
- 全国的にも同様に緩やかな減少傾向が見られています。18都道府県に適用されている「まん延防止等重点措置」については、全国的な感染者数がピーク時の半分程度、病床使用率や在宅療養者数が減少傾向になっていることから、21日の期限をもって全面解除となりますが、未だ感染者は多く発生しています。
- また、これから進学、就職、転勤などで歓送迎会や研修会など、日常と異なる接触機会が増加することが想定され、去年は4月頃に新規感染者数が増加していることから注意が必要です。手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策は緩めることなく、継続して実践することが必要となります。
- 医療機関や福祉施設等での感染は少なくなってきましたが、施設内で陽性者が療養する場合であっても確実に治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。ワクチン接種が未だの場合は、ワクチン接種を進めることも重要です。
- 高齢者や基礎疾患を持つ方と接する方は、基本的な感染対策の徹底・強化が必要です。高齢者は他年齢層よりも重症化率が高く、早期に3回目のワクチン接種を受けることを推奨します。また、新規陽性者の多くを占める小児と接する大人や保護者が3回目の接種を進めることも重要です。